

正解は各問の選択肢の中から1つだけ選び、その番号をマークシートにマークすること。正解が数値の場合には、選択肢の中から最も近い値を選ぶこと。学生番号、氏名を指定された方法でマークシートの所定の欄に記入すること。

問1 (力) = (質量) × (加速度)の関係がある。力のM K S単位はニュートン(N)である。力のC G S単位(距離をセンチメートル、質量をグラム、時間を秒とする単位)はダイン(dyn)である。1ニュートンは何ダインか。

$$\begin{array}{llll} 1\text{N} = 10^2\text{dyn} & 1\text{N} = 10^3\text{dyn} & 1\text{N} = 10^4\text{dyn} & 1\text{N} = 10^5\text{dyn} \\ 1\text{N} = 10^6\text{dyn} & 1\text{N} = 10^7\text{dyn} & 1\text{N} = 10^8\text{dyn} & 1\text{N} = 10^9\text{dyn} \end{array}$$

問2 3次元空間中の位置ベクトル r が時間 t の関数として、

$$r(t) = \cos \omega t \mathbf{i} + \sin \omega t \mathbf{j} + t \mathbf{k}$$

と表されるとき、加速度ベクトル $a(t)$ を求めよ。ただし、 $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ は、それぞれ x 軸、 y 軸、 z 軸方向の単位ベクトルである。 ω は定数である。

$$\begin{array}{ll} a(t) = \sin \omega t \mathbf{i} + \cos \omega t \mathbf{j} + t \mathbf{k} & a(t) = \sin \omega t \mathbf{i} + \cos \omega t \mathbf{j} \\ a(t) = -\omega \sin \omega t \mathbf{i} + \omega \cos \omega t \mathbf{j} + t \mathbf{k} & a(t) = -\omega \sin \omega t \mathbf{i} + \omega \cos \omega t \mathbf{j} \\ a(t) = \omega^2 \cos \omega t \mathbf{i} + \omega^2 \sin \omega t \mathbf{j} + t \mathbf{k} & a(t) = \omega^2 \cos \omega t \mathbf{i} + \omega^2 \sin \omega t \mathbf{j} \\ a(t) = -\omega^2 \cos \omega t \mathbf{i} - \omega^2 \sin \omega t \mathbf{j} + t \mathbf{k} & a(t) = -\omega^2 \cos \omega t \mathbf{i} - \omega^2 \sin \omega t \mathbf{j} \end{array}$$

問3 質量 m の質点が3次元空間中を運動している。その位置ベクトル r は、時間 t の関数として、 $r(t) = \cos 2t \mathbf{i} + 3e^{-t} \mathbf{j} + 9t \mathbf{k}$ と与えられている。この質点に作用している力 $F(t)$ を求めよ。ただし、 $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ は、それぞれ x 軸、 y 軸、 z 軸方向の単位ベクトルである。

$$\begin{array}{ll} F(t) = m \cos 2t \mathbf{i} + 3m e^{-t} \mathbf{j} & F(t) = -m \cos 2t \mathbf{i} - 3m e^{-t} \mathbf{j} \\ F(t) = 4m \cos 2t \mathbf{i} + 3m e^{-t} \mathbf{j} & F(t) = -4m \cos 2t \mathbf{i} + 3m e^{-t} \mathbf{j} \\ F(t) = m \sin 2t \mathbf{i} + 3m e^{-t} \mathbf{j} & F(t) = -m \sin 2t \mathbf{i} - 3m e^{-t} \mathbf{j} \\ F(t) = 4m \sin 2t \mathbf{i} + 3m e^{-t} \mathbf{j} & F(t) = -4m \sin 2t \mathbf{i} - 3m e^{-t} \mathbf{j} \end{array}$$

問4 質量 m の質点が3次元空間中を運動している。質点には重力 $F = -mg \mathbf{k}$ が作用している。時刻 $t = 0$ で質点は直交座標の原点にあり、その速度は $\mathbf{v} = 2 \mathbf{i} + 3 \mathbf{j} + 8 \mathbf{k}$ であった。ただし、 $\mathbf{i}, \mathbf{j}, \mathbf{k}$ は、それぞれ x 軸、 y 軸、 z 軸方向の単位ベクトルである。また、 g は重力加速度定数である。運動方程式を解き、位置ベクトル r を時間 t の関数として求めよ。

$$\begin{array}{ll} r(t) = 2t \mathbf{i} + 3t \mathbf{j} + (gt^2/2 + 8t) \mathbf{k} & r(t) = 2t \mathbf{i} + 3t \mathbf{j} + (-gt^2/2 + 8t) \mathbf{k} \\ r(t) = 2 \mathbf{i} + 3 \mathbf{j} + (gt^2/2 + 8t) \mathbf{k} & r(t) = 2 \mathbf{i} + 3 \mathbf{j} + (-gt^2/2 + 8t) \mathbf{k} \\ r(t) = 2t \mathbf{i} + 3t \mathbf{j} + (gt^2 + 8t) \mathbf{k} & r(t) = 2t \mathbf{i} + 3t \mathbf{j} + (-gt^2 + 8t) \mathbf{k} \\ r(t) = 2 \mathbf{i} + 3 \mathbf{j} + (gt^2 + 8t) \mathbf{k} & r(t) = 2 \mathbf{i} + 3 \mathbf{j} + (-gt^2 + 8t) \mathbf{k} \end{array}$$

問5 質量 m の質点が3次元空間中を運動している。質点には重力 $F = -mgk$ が作用している。ただし、 i, j, k は、それぞれ x 軸、 y 軸、 z 軸方向の単位ベクトルである。また、 g は重力加速度定数である。重力による位置エネルギー、すなわち、重力場のポテンシャル関数 $U(x, y, z)$ を求めよ。ただし、座標原点を位置エネルギーの基準点にとる。すなわち、 $U(0, 0, 0) = 0$ である。

$$\begin{array}{cccc}
 U = mgx & U = mgy & U = mgz & U = mg(x+y) \\
 U = -mgx & U = -mgy & U = -mgz & U = -mg(x+y)
 \end{array}$$

問6 1次元波動方程式、 $\frac{\partial^2 u}{\partial t^2} = c^2 \frac{\partial^2 u}{\partial x^2}$ の解となる関数 $u(x, t)$ を以下の中から選べ。ただし、 c は正の定数である。また、 A, λ は任意の定数である。

$$\begin{array}{ll}
 u(x, t) = A \sin \frac{2\pi}{\lambda}(x - ct) & u(x, t) = A \tan \frac{2\pi}{\lambda}(x - ct) \\
 u(x, t) = A \sin \frac{2\pi}{\lambda}(x - \frac{t}{c}) & u(x, t) = A \tan \frac{2\pi}{\lambda}(x - \frac{t}{c}) \\
 u(x, t) = A \sin \frac{2\pi}{\lambda}(x - c^2t) & u(x, t) = A \tan \frac{2\pi}{\lambda}(x - c^2t) \\
 u(x, t) = A \sin \frac{2\pi}{\lambda}(x - \frac{t}{c^2}) & u(x, t) = A \tan \frac{2\pi}{\lambda}(x - \frac{t}{c^2})
 \end{array}$$

問7 屈折率 n_1 の媒質中を振動数 ν_1 、波長 λ_1 の波が伝播している。この波が屈折率 n_2 の媒質中に入ったときの波の速度を求めよ。

$$\begin{array}{cccc}
 \frac{\nu_1 \lambda_1 n_1}{n_2} & \frac{\nu_1 \lambda_1 n_2}{n_1} & \frac{\nu_1 \lambda_1 n_1^2}{n_2^2} & \frac{\nu_1 \lambda_1 n_2^2}{n_1^2} \\
 \frac{\nu_1 \lambda_1 \sqrt{n_1}}{\sqrt{n_2}} & \frac{\nu_1 \lambda_1 \sqrt{n_2}}{\sqrt{n_1}} & \nu_1 \lambda_1 \sin\left(\frac{n_1}{n_2}\right) & \nu_1 \lambda_1 \cos\left(\frac{n_1}{n_2}\right)
 \end{array}$$

問8 温度 T [K]における n モルの単原子理想気体の、平均の運動エネルギーとして正しい表式は以下のうちどれか。ただし気体定数を R [J/(mol · K)]とする。

$$nT \quad nRT \quad \frac{n}{2}RT \quad \frac{3}{2}nRT \quad \frac{5}{2}nRT$$

問9 2モルの理想気体が等温変化により膨張した。気体の温度は500[K]とし、体積は最初2[m³]で、最後に4[m³]になったとする。また、この過程は準静的過程である。この気体が外部にした仕事として正しいものを以下のものから選べ。ただし必要ならば気体定数を8.31[J/(mol · K)]、2の自然対数を0.693、自然対数の底 e を2.72として計算せよ。

$$5.76 \times 10^3 \text{ [J]} \quad 1.66 \times 10^4 \text{ [J]} \quad 3.32 \times 10^4 \text{ [J]} \quad 6.14 \times 10^4 \text{ [J]} \quad 6.65 \times 10^4 \text{ [J]}$$

問 10 高温熱源 727[] ,低温熱源 27[]を用いて運転されるカルノーサイクルの効率は以下のうちどれか。ただし 0[] =273[K]とする。

0 0.063 0.70 1.0 16

問 11 0[]の氷が 100[g]ある。これを熱して溶かし , 0[]の水にした。氷の融解熱を 80[cal/g]として , この氷のエントロピーの変化として正しいものは以下のうちどれか。熱の仕事当量を 4.2[J/cal]とする。ただし 0[] =273[K]とする。

80[J/K] 120[J/K] 620[J/K] 1200[J/K] 3600[J/K]

問 12 質量 7×10^{-26} [kg] , 温度 300[K]の理想気体原子において , x 方向の速度が 300[m/s]をとる確率の , 900[m/s]をとる確率に対する比として正しいのは以下のうちどれか。 e を自然対数の底とし , ボルツマン定数を 1.4×10^{-23} [J/K]として計算せよ。

$e^{0.067}$ $e^{0.60}$ $e^{1.3}$ $e^{2.3}$ e^6

問 13 真空中で直交座標の点 (0,3,0) に電気量 $-q$ [C]の電荷が , 点 (5,0,0) に $+2q$ [C]の電荷がおかれている。原点における電位(静電ポテンシャル) ϕ [V]はいくらか。ただし , 真空の誘電率は ϵ_0 [F/m]とし , 電位の基準点は (0,0, ∞)とする。座標の数値の単位はメートル (m) である。

$-\frac{q}{30\pi \epsilon_0}$ $-\frac{q}{60\pi \epsilon_0}$ $-\frac{q}{120\pi \epsilon_0}$
 $\frac{q}{120\pi \epsilon_0}$ $\frac{q}{60\pi \epsilon_0}$ $\frac{q}{30\pi \epsilon_0}$

問 14 座標原点に電流 I [A]の流れる微小線素 ds がある。原点からの位置 \mathbf{R} [m]で , この線素によって生じる磁束密度 $d\mathbf{B}$ [Wb/m²]はどのように表されるか。

$d\mathbf{B} = \frac{\mu_0 I}{4\pi R^2} (ds \times \mathbf{R})$ $d\mathbf{B} = \frac{\mu_0 I}{4\pi R^3} (ds \times \mathbf{R})$ $d\mathbf{B} = \frac{I}{4\pi \mu_0 R^2} (ds \times \mathbf{R})$
 $d\mathbf{B} = \frac{I}{4\pi \mu_0 R^3} (ds \times \mathbf{R})$ $d\mathbf{B} = \frac{\mu_0 I}{4\pi R^2} (\mathbf{R} \times ds)$ $d\mathbf{B} = \frac{\mu_0 I}{4\pi R^3} (\mathbf{R} \times ds)$

問 15 真空中に置かれた , 形状が同じで面積 S [m²]の 2枚の導体平板が , 間隔 d [m]の平行平板コンデンサーを形成している。この 2枚の平板間に $V(t) = V_0 \sin(2\pi \nu t)$ [V]の電圧を印加した。平板間を流れる変位電流を求めよ。ただし , 真空の誘電率は ϵ_0 [F/m]とする。 ν は定数である。

$\epsilon_0 dV_0 \sin(2\pi \nu t)$ $\epsilon_0 \frac{S}{d} V_0 \sin(2\pi \nu t)$ $2\pi d \epsilon_0 \nu S V_0 \cos(2\pi \nu t)$
 $2\pi \epsilon_0 \nu \frac{S}{d} V_0 \cos(2\pi \nu t)$ $4\pi \epsilon_0 \frac{S}{d} V_0 \sin(2\pi \nu t)$ $4\pi \epsilon_0 \nu \frac{S}{d} V_0 \cos(2\pi \nu t)$

問 16 マックスウェル方程式のうち、アンペールの法則を拡張した法則に対応するものはつぎのうちどれか。ただし、 ρ [C/m³]は電荷密度、 ϵ_0 [F/m]は真空の誘電率、 μ_0 [H/m]は真空の透磁率、 E [V/m]は電界、 B [Wb/m²]は磁界、 i [A/m²]は電流密度を表す。

$$\operatorname{div}(\epsilon_0 \mathbf{E}) = \rho \qquad \operatorname{div} \mathbf{B} = 0 \qquad \operatorname{rot} \mathbf{E} = -\frac{\partial \mathbf{B}}{\partial t} \qquad \operatorname{rot} \mathbf{B} = \epsilon_0 \mu_0 \frac{\partial \mathbf{E}}{\partial t} + \mu_0 \mathbf{i}$$

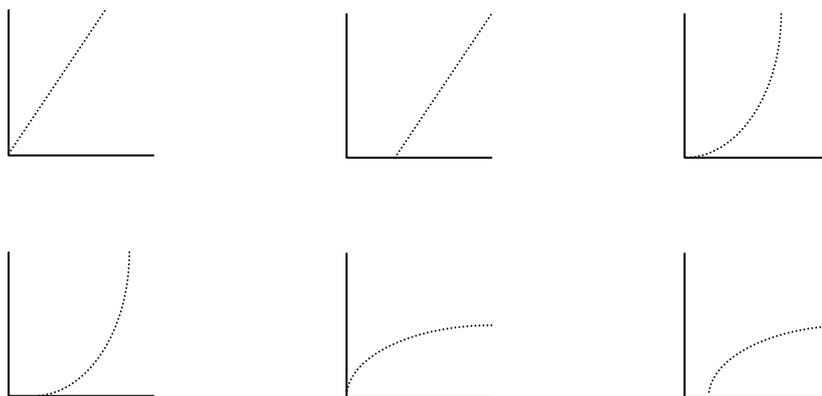
問 17 真空中を y 軸、正の方向に伝搬する電磁波が存在する。 i, j, k をそれぞれ x, y, z 方向の単位ベクトル、 λ [m] を波長、 ν [Hz] を周波数、 t [s] を時間、 E_0 [V/m] を振幅として、座標 (x, y, z) における電磁波の電界成分が $E = E_0 \sin(\frac{2\pi}{\lambda} y - 2\pi \nu t) k$ と表せるとき、座標 (x, y, z) における磁束密度 B [Wb/m²] はどのように表せるか。ただし、磁束密度の振幅を B_0 [Wb/m²] とする。

$$\begin{aligned} \mathbf{B} &= B_0 \sin\left(\frac{2\pi}{\lambda} x - 2\pi \nu t\right) \mathbf{k} & \mathbf{B} &= B_0 \cos\left(\frac{2\pi}{\lambda} x - 2\pi \nu t\right) \mathbf{k} & \mathbf{B} &= B_0 \sin\left(\frac{2\pi}{\lambda} y - 2\pi \nu t\right) \mathbf{i} \\ \mathbf{B} &= B_0 \cos\left(\frac{2\pi}{\lambda} y - 2\pi \nu t\right) \mathbf{i} & \mathbf{B} &= B_0 \sin\left(\frac{2\pi}{\lambda} z - 2\pi \nu t\right) \mathbf{j} & \mathbf{B} &= B_0 \cos\left(\frac{2\pi}{\lambda} z - 2\pi \nu t\right) \mathbf{j} \end{aligned}$$

問 18 観測者が自身に対して光速の 1/2 の速度で運動している物体の全エネルギーを測定した。この測定値は物体が観測者に対して静止している場合の何倍になっているか。特殊相対論を考慮して答えよ。

$$\frac{3}{\sqrt{5}} \quad \frac{2}{\sqrt{3}} \quad \sqrt{2} \quad \frac{3}{2} \quad \sqrt{3} \quad 2 \quad 3$$

問 19 下の図は金属に光を照射したとき生ずる光電効果について、横軸に照射光の振動数、縦軸に金属表面から飛び出す電子のエネルギーの概略を点線で示したものである。正しいものはどれか。



問 20 電子の運動エネルギーを 3 倍にすると、その物質波 (ド・ブロイ波) の波長は何倍になるか。ただし、電子の速度は光速に比べ充分小さいとする。

$$\frac{1}{9} \quad \frac{1}{3} \quad \frac{1}{\sqrt{3}} \quad \sqrt{3} \quad 3 \quad 9$$